フォトラリー　～利根運河を調べてみよう！～

流山市と野田市との境を流れる利根運河。実は人の手で作られました。
なぜ？　いつごろ？　利根運河の歴史を調べて、実際に見に行ってみよう！

★利根運河とは？

流山市の北側、野田市との境を流れている人工の川です。流山市・野田市・柏市にまたがって流れています。

鉄道や自動車が使われるようになる前までは、荷物を運ぶのに船が使われていました。利根川と江戸川はそうした「船の道」の一つで、流山は船着き場として栄えました。

利根運河は利根川と江戸川をショートカットしてむすび、船の行き来を便利にするためにつくられました。オランダの技術者ムルデルの力を借り、明治 23（1890）年に開通しました。運河の土手沿いには船の荷物を扱う店や料理屋などが立ち並びました。しかし、鉄道や自動車の技術が持ち込まれ、広く使われるようになると、時間がかかる船を使った運送や交通は減っていくことになります。今では交通路としての役目は終えていますが、周辺の豊かな自然環境もあり、市民の憩いの場となっています。

博物館で調べよう！

★見に行こう！　利根運河

写真を撮ってここに貼ろう！

写真を撮ってここに貼ろう！

ムルデルの碑

写真を撮ってここに貼ろう！

江戸川口

旧割烹新川屋本館

利根運河地図